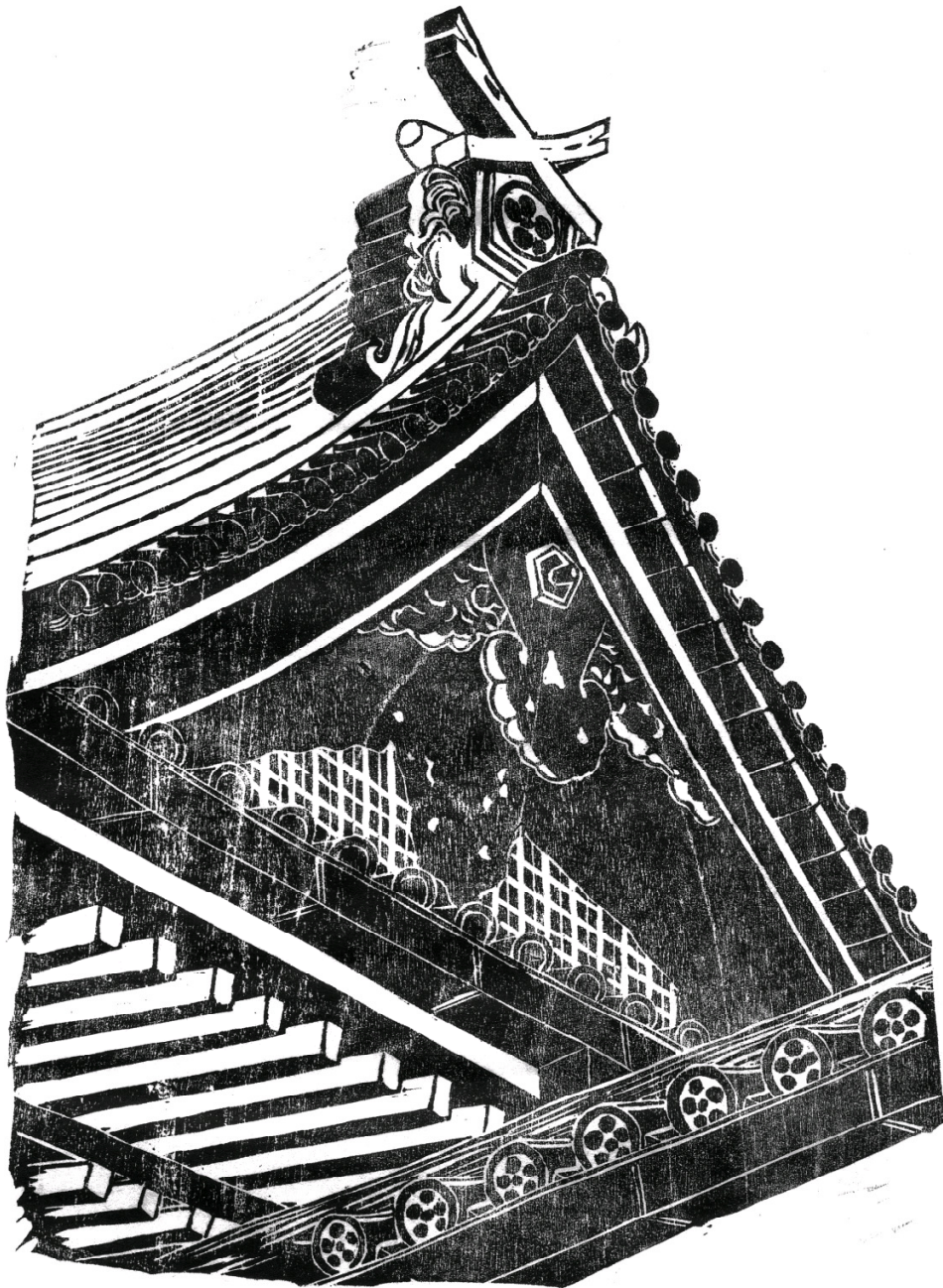


発行所
天理教笠岡大教会

かさおか編集掛
笠岡市用之江377
郵便番号714-0066
(0865)

電話 66-1311
FAX 66-1314

かさおか



千木と堅魚木をモチーフにした鬼瓦

おつとめ奉仕者の増員

- ・一人ひとりが日々に真実を尽す
- ・布教によるおつとめ奉仕者の増加
- ・後継者講習会への参加による奉仕者の増加
- ・おぢばへの伏せ込みひのきしん

立教171年
3月号



雅楽奉仕者の増員を期して
雅楽講習会開催

2月2日・3日

プログラム

2月2日(土)	2月3日(日)
3:00 集合・受付	6:30 起床・洗面
3:30 開講式・オリエンテーション	7:00 朝づとめ
4:00 練習①	7:45 朝食
5:30 夕づとめ	8:30 練習③
6:15 夕食	10:00 休憩・ゲーム
7:00 練習②	10:30 練習④
8:00 講師演奏・おやつ	11:30 昼食
8:30 入浴	13:00 総合練習・御供演奏
9:30 就寝	14:30 閉講式
	15:00 解散

25年ぶりに初心者を対象の雅楽勉強会を開催しました。参加者は、少年会員22名、大人8名の計30名でした。なお、各管の講師は、雅楽会の12名で担当しました。



受講者は、終始熱心に取り組み、最後のお供え演奏では、当初の目的である平調・越殿楽を雅にまた、迫力ある演奏を奏することができました。少年会員には、次の目標であるおつとめまなび総会での雅楽奉仕が待っており、各自の練習を望むところです。
(少年会団長 中島 誠 治)

雅楽講習会に参加して

稲倉分教会 大月勇樹(18)

私は今まで、雅楽をやったことがありませんでした。実際にやってみると、とても難しいものだというのを感じました。私は龍笛をやりました。



最初は音を出すのに苦労しました。でも何度も練習して音が出せた時は、とても嬉しかったです。ただ音を出せるだけでは意味がありません。いい音を出していかないと、合唱がうまくいきません。全員がひとつになって初めていい音楽になるんだと感じました。私はまだ二日しかしてないけどこの二日で、雅楽は楽しいものだと思います。今はまだ、全然うまくできないけど、これからずっと続けていき、もっと雅楽について知り、うまくなれるよう頑張っていきたいです。

雅楽講習会を受けて

島根分教会 門脇はづき(13)

私は、初めて雅楽講習会を受けさせて頂きました。最初は、正直「めんどくさそう」などと思っていました。でも実際に受けてみると、思っていたより、楽しかったです。

私は笙をさせて頂きました。初めてではなく、唱歌くらいなら歌った事があったのですぐにできました。でも、強弱をつけたり、息を続かせたりすることが、意外と難かしくて、苦戦しました。練習の時には、全く時間が経つのを感じませんでした。二時間練習しても、まだ一時間も経って

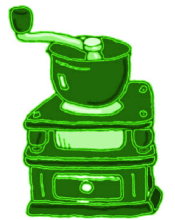


が聞けたのでよかったです。最後のお供演奏では、合同練習の時と同じようにみんな上手にできていたと思いました。

この雅楽講習会で、初めて雅楽について学びました。今はあまり雅楽にふれることがないので、今回の雅楽講習会は、私にとっていい経験になったと思います。今後また雅楽講習会があったら、次は他の楽器にも挑戦してみたいと思いました。

ないように感じました。笙が一番難しかったのは指づかいでした。でも、完璧ではないですが、だいたい吹けるようになったので、うれしかったです。みんなとの合同練習では、自分の吹いている所が分からなくなったりして大変でした。でも、みんなの音が重なり合って、とてもきれいな音色

談話室



感謝の心

（後継者講習会を終えて）

上下分教会 西畑 珠実

十年前、私は初めて後継者講習会を受講しました。その時は、姉にも「あんた、ほんまによく寝とったよなあ。」と言われる程で、失礼な話、ほとんど覚えていませんでした。

今回は、姉が第21回に参加するので、「あんたも一緒に行かへんか。」と誘われ、早速上下分教会に電話をすると、偶然上下分教会でもその時参加するという事で、子供二人を連れ夫と義母にお願いしての参加でした。その為、とにかく何か一つでも持って帰れる物があれば良いと思って参加させて頂きました。

講習会初日、クラスに入って来た担当の先生が板倉先生で、なんと、私が天理高校の時、産休の先生の代わりに3ヶ月間英語を教えて頂いた事があり、とても懐しく、嬉しい気持ちになり、緊張感が少しほぐれました。

早速、講話とねり合いがはじまり、私の班は7人で内女性2人で年令も最年長の41才最年少の19才と幅広くかつみんな物静かな方達ばかりでした。そしてねり合いの時は全員が自分自身の意見がしっかりとまとまっていて簡潔に話をする為毎回時間があまってしまいちょっと沈黙が多いねり合いとなり、少し残念な気もしました。

普段、天理教の勉強をする機会があまりなく、お話を聞くのもとても久しぶりで改めて教理の話聞き、またそれを聞くだけでなくその後ねり合いで、自分自身の心に残った事をまとめ発表する事で考えを深める事ができ、また、他の人の意見を聞く事でまた違った見方ができたりと、とても有意義な時間を過ごす事ができたと思います。

そして今回の講習を終えて改めて感じた事は、おつとめの大切さと感謝の心でした。

いつもおつとめをする時、ついついボーッとしてしまい、数を間違えたりする事があったのですが、「おつとめ間違ったら信仰間違うで。」と二代真柱様がおっしゃったと聞き、これは折角おつとめをしていても間違ってしまったら意味がないと思い、日々のおつとめをもっと真剣にさせて頂くように思いました。

それと、感謝の心ですが、毎日あたり前に元気に過ごしているるとついつい忘れてしま

てしまいがち、見落としてしまいがちになります。私の夫はクリスマスチャンで、本当によく「ありがたよなあ」という言葉を口にします。いつも私はそれを聞き、「そうやなあ」と相槌をうつだけでした。この講習で改めて私自身の口から日々どれだけ感謝の気持ちを言っているかと考えてみますと、ほとんどなかったという事に気が付きました。生かされているという事がどれだけありがたい事を改めて考え日々「ありがたい」と声に出す事がとても少なかった事を反省しました。

この講習会で天理教の方々と話し合いをし、今は心も勇んでしっかりとお道につながるようぼくとして日々を過ごしていこうと思っておりますが、これをどうやって持続しつづけるかという事が私にとって今一番大きな課題であると思っております。

来年への「宿題」が出来た

明石市分教会長 杉原博之

昨年11月10日加古川市教育委員主催の不登校児童を励ます「アタックゴー」という行事があった。昨年が続いて私とクラシックギターの友人、弾き語りの友人3名で参加した。子供達の希望による出演だ。

中学1年〜3年生の20名。身体の大きい子がいるので高校生かと思う程の生徒もいる。児童とか子供というのは失礼だな。会場は「加古川市少年自然の家」という広大な樹林や人工湖を前に見る言葉通りの自然に包まれている。9時半から11時

まで。アンプとマ

イクの前に生徒達

が半円になるように

床に座っている。

最初はクラシックの

友がビートルズの曲を弾

く。やはり聴き知った曲が

いいんではないかと考えたの

だろう。

次は私だ。実は今日何を弾こうか、

唄おうかと随分悩んだ。老人ホームや、

刑務所、拘置所と弾き唄ってきたが、対象が

大人なので演歌や童謡で喜んでもらえた。今回は

中学生なので何がうけるのか？悩んだ末に仕方

なしにいつもの曲で、もしかして

知っているかなと思って、禁じら

れた遊び／マラゲニヤ／黒いオル

フェを弾く事にした。

最後に生徒は知らないけれど昭和

42年の荒木一郎の歌「空に星が

あるように」を唄う。歌詞に・・・

たった一つの夢は消えまし

た・・・とある。その夢のことを

話したかった。私のかなえた夢を

話し、多くの消えた夢を話した。また初老になっても新しい夢を

持っている
ことを話した。
きつと生徒の皆なもたく
さん夢を持っているんだろうな
あ。かなえてほしい。消えてもまた持てばいい。

3人目の弾き語りの名手がオリジナルの歌を弾
き語る。うーん実に良い。「学校を好きになろう」
という歌も有る。生徒達の食い入るような
目・・・完全に負けたな。

行事が終わって教育委員会の人に早々と「来年
(20年度)も頼みます」と言われた。来年は自作の
歌を唄うつもりだ。がんばりますよ。



▼養徳社発行『陽気』誌二月号、「道柳」より転載

▽今回の課題は「言」、選七十一句中、笠岡に繋がる教
友の方一名、一句が見事選ばれ掲載されていました
ので転載させて頂きます。おめでとうございます。

佳 詠 東悠分教会前会長夫人 田 林 美智子

信ずれば交す言葉に重みあり

▼表紙の版画 東城分教会長 横山逸郎氏

祭典作法・祭儀式学ぶ 教会長講習会開催

高屋分



高屋分教会では二月十八日、大教会長様を講師に迎え教会長講習会を開催、33人が参加、祭典作法、祭儀式(霊祭・葬儀)を学んだ。
これは大教会より、次なる成人の塚へ向かう活動指針として「おつとめ奉仕者の増員」の打ち出しを受け、人数を増やすだけでなく、祭典内容の充実を図るための一環として教会

長、役員、受講希望者を対象に開いたもの。また新任教会長が増える反面、祭儀式についても、

見よう見まねの作法が多く見られていたが、正しい知識を学んでもらう機会もなかった。これからのいろんな役割をつとめてもらうため必要にせまられて実施された。

同講習会は毎年開催され、これまで上級から流される事柄の徹底や、教会長どうしの親睦ではなく、お互いの布教活動を通しての研さんのため講話、ねり合いを中心に行われてきたが、マンネリ化を防ぐため、新しい企画をし、いろんな事をやってみようという企画推進委員会の発案によって、今回の勉強会となった。

武内正美会長が「正しい作法で真剣におつとめをつとめる事が大切。この機会にしっかりと学んで頂きたい」とあいさつ。

次いで大教会長様から、祭儀式についての説明、つとめる心構えなどが話された。
参加者は、持参した笏しやくを使っ



て笏しやくの扱い方、そして基本作法の一つ敬礼作法(笏を持った場合、持たない場合)から練習した。

その後、朝夕のおつとめ、月次祭、霊祭、葬儀(みたまうつし・告別式)を祭主、扨者、指図方、賛者などの役割を決め練習を行った。諸役割の動作、また作法の意味あいなど、その都度大教会長様から事細かな指導を受けた。参加者はメモを取りながら、特に葬儀に関しては質問も多くあり、熱心に見入っていた。

最後に大教会長様は「祭儀式は特別に時間をさいて練習するのは

なく、日々の朝夕のおつとめをつとめる中でも、基本動作、作法を意識して行う事が大切」と私たちに日々の取り組み方の大事さを話された。

講習会を終えて、参加者の一人は「今まで朝夕のおつとめをはじめ間違いだらけの事をしていた。基本作法、またその意味あいをしっかりと頭の中に入れておく必要を感じた。練習中、注意ばかりされて少しは恥ずかしい思いがしたが、大変勉強になった」と話していた。



二月月次祭祭文

これの笠岡大教会の神床にお鎮まり下さいます

親神天理王命の御前に 会長上原理一 慎んで申し上げます

親神様には子供かわいい一条の親心から身体をお貸し下さるだけでなく 万いさいの守護をお与え下さり 陽気ぐらしをお待ち望み下さいます事は誠に有難く勿体ない極みでございます しかしながら世の多くの人々はその理を忘れ己が力と過信するばかりか 親を忘れ 喜び感謝の心を失い 結果苦しみに喘いでしまっている事は 誠に申し訳ない次第でございます 此の道にお引き寄せ頂き 眞実の親心に触れた私共は喜び感謝の心一杯に 日々朝夕に御礼申し上げますと共に 一人でも多くの人に親心に触れて貰うべく つとめとさづけを通してにいがけおたすけにと勤め励ませて頂いております

その中にも今日の吉日はこれの笠岡の二月の月次祭を執り行う日柄でございますので おつとめ奉仕者一同 喜び心も一入に明るく陽気に勇んで坐りつとめてをどりをつとめさせて頂きます 御前には今日の日を楽しみに 寒さ厳しき中も厭いません 寄り集いました道の子供達が相共に同じ思いに伏し拝み 尚も変わらぬ親心にお縋りする状を御覧下さいまして親神様にもお勇み下さいますようお願い申し上げます

さて 今や世上は地球温暖化や水質悪化 又空気汚染等直接人類の生命に関する事柄が大きな問題になっていくにも関わらず 多くの人が自分の時代は大丈夫と目先の欲に囚われていて 子供達を取り巻く環境は決して良くありません だからこそ次代を担う若者をしっかりと育てていく必要があります

本日祭典に引き続き学生層育成者講習会を開催し 育てるべき私達がしっかりと育成の意欲を持たせて頂く所存でございます そして学生生徒修養会や春の学生おちば帰り等のおちばで直接お仕込み頂く機会を大いに活用し 参加の声掛けと共に 教会での育て 丹精にも力を注いでいく所存でございます

何卒親神様には現代のみならず 次代もそして末代へと道を伝え広めようとする皆の誠真実の心をお受け取り下さいます 万たすけの上に更なる自由の御守護を賜り時代を経る毎に成人の足取り早まり お望み下さる陽気ぐらしの世の状が一日も早く実現しますようお導きの程を 一同と共に慎んでお願い申し上げます

・原・稿・募・集・

内 容

①小随筆 ②教会・布教所の独自の活動の紹介
③俳句・和歌・川柳 ④教会行事開催後の報告記事 等々

字 数

1000字前後(800字~1200字)
題名・所属教会名・氏名を明記して下さい。
俳句等は1句からでも結構です。

寄 稿 先

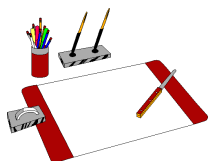
下記、大教会内『かさおか』編集掛宛ドシドシご寄稿下さい。

郵 便：〒714-0066 岡山県笠岡市用之江377

F A X：0865-66-1314

メール：tenkasa@yahoo.co.jp

尚、原稿はお返し致しませんので、予めご了承下さい。



◆立教171年 少年会笠岡団 おつとめまなび総会



- 【と き】 平成20年4月1日 午前9時 受付、9時半 開始
(少年会員には記念品)
- 【と ころ】 笠岡大教会
- 【お祝い金】 各教会千円
- 【内 容】 午前 祭儀式、おつとめまなび、式典、わかぎ門出式
午後 ドッジボール大会(1位・2位・3位は表彰します。)
- 【役 割】

1・2下り目	福 山	7・8下り目	上 下
3・4下り目	高 屋	9・10下り目	島 根
5下り目	久 松	11・12下り目	大教会・直轄1
6下り目	直轄2・府中市		

大教会だより

◎教会長資格検定講習会修了者

前期 立教171年2月14日終講
弥高山 岡崎 ひさよ

訃報

吉岡智三氏

大教会準承事 芦品分教会前会長
二月二日出直されました。享年 八十八才



昨年暮、私方の教会にとって大切な方が、続いて出直していかれました。突然の出直しに頭はパニックになりながらも葬儀の手配等々、精一杯つとめさせて頂きました。一人の方は教会から比較的近くにお住いの方で、上級の会長さんに相談させてもらいながら何とか無事つとめさせて頂けま

した。時を同じくしてもう一人の方の危篤の知らせが入り、どうぞ神様！とお願いをしつゝ、告別式をつとめさせて頂きました。数日後、今度は東京での葬儀となり、家族・親族だけで、ごく内輪ですのぞ！との事で一人ずつとめさせて頂く様に思い妻と二人上京しました。小さな会館ですので聞いていたのですが実際は新しく立派な会館で、しかも一フロア貸切りの状態でビックリ！どうしよう？と思っていると係の方が挨拶に来て下さり、その方大変天理教の事に精通しておられやけに詳しいので、おたずねしてみると、実は私は天理教の会長です、との事、しかも会館の経営者の方もH大教会の役員の方だと聞いてビックリするやら、安心するやらで、そんな事で二日間の葬儀が本当にスムーズに、皆さんに、本当に良い別れの式だったですネ、と言って貰い、大役を無事つとめさせて頂く事が出来ました。パニックになったり、ハラハラしたりの数日間でしたが、亡き父がいつも、一生懸命やらせてもらおうやあ、神様がかたはず、かたはずに守ってくれてよ、毛抜き合せの様な御守護の中つれて通ってくれてんもんど“と言っていたのを思い出し、今回の事も、後から思い返してみれば正にその通り、かたはずの所をつとめさせて頂けたんだなあ、神様やなあ！と改めて思わせてもらいました。少しづつ信じ始めている(マトリックス・ネオ)自分に気が付き、先案じはやめよう！“と思った事です。さて季節は“出発の春”、“芽吹き”の春“にここにこいそいと精一杯歩ませてもらいましょう！”神様がええようにしてくれてですぞ(と)